

# 遠隔ヘルスケアのための多感覚XR-AI

シンポジウム開催：11/25(土) 14:00～

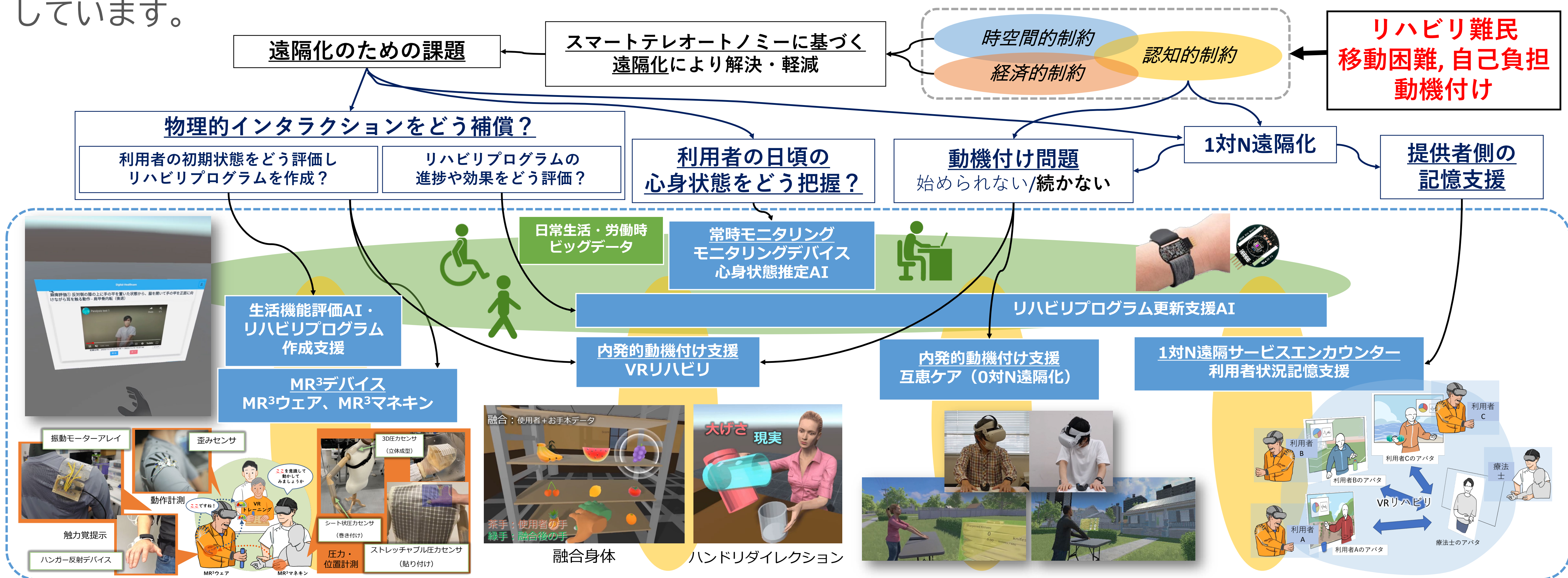
- ▶ MR<sup>3</sup>デバイスによる生活・運動機能評価と触力覚インタラクション
- ▶ VRリハビリ（ハンドリダイレクション、融合身体）による動機付け支援
- ▶ メタバース環境での同種・異種互惠ケアによる動機付け支援
- ▶ 常時モニタリングによる心身状態推定

## 研究の目的

ヘルスケアサービスの各プロセスの遠隔化をスマートテレオートノミーの概念に基づいて実現し、時空間的、経済的、ならびに認知的制約を緩和することで、各制約に起因する諸問題を効果的に解決・軽減することを目的としています。

## 研究内容

利用者の生活・運動機能評価、触力覚インタラクションのためのMR<sup>3</sup>デバイス（ウェア、マネキン）、心身の常時モニタリングデバイス、利用者の動機付け介入のための多感覚XRシステム、それらを下支えするAIからなる多感覚XR-AI技術基盤を構築しています。



リハビリなどのヘルスケアサービスに関する社会課題環境側のと研究テーマの関係



参考文献：日本語



参考文献：英語

## シンポジウムは今週末

詳しくはウェブで



- 日時：11月25日（土）14:00～最大18時まで
- 場所：東大本郷キャンパス 工2号館211号講義室（Zoomウェビナーでの中継あり）
- プログラム

第1部 遠隔ヘルスケアのための多感覚XR-AI技術基盤について

第2部 招待講演

- ソフトデバイスe-Rubberを用いたContact Realityの概念に基づく遠隔触診システム開発 黒木 帝聡（豊田合成）
- オンライン生活期リハビリの社会実装へ：Rehab Studio の挑戦 村治 敦史（Rehab for Japan）
- 運動習慣の定着に向けて：遺伝因子と環境因子の影響 増木静江（信州大）

第3部 全体討論・デモ（MR3デバイス、ハンガー反射、互惠ケア、e-Rubber等）

遠隔ヘルスケアのための多感覚XR-AIに関するシンポジウム  
XR-AI for THC (エクスレイ・フォー・テレヘルスケア) 2023

2023年11月25日(土) ハイブリッド開催

XR-AI: XR powered by AI、エクスレイ

MR<sup>3</sup>: MultiModal Mixed Reality for Remote Rehab、エムアールキューブ

